

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



エコアクション21
認証番号 0012327



認定



大塚の匠もつくりの企業



第一鋼業株式会社

2021 年度 環境経営レポート

(対象期間：2020 年12月21日～ 2021 年12月20日)



発行日： 令和3年12月27日

目 次

項 目	ページ
あいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	11
緊急事態対応訓練	11
代表者による全体の評価と見直し・指示	13
これまでの環境活動の紹介	13

□ごあいさつ

環境を考えることは企業の義務です。有害物質を出さない事、リサイクルの輪を断ち切るような製品を出さない事、省資源の考え方などを基本に製品作りをすることが我々に課せられた使命と考えます。この考え方を基本にして製品作りをすすめるとともに次世代の環境にやさしい処理を探求し、もの造りに専念いたします。

第一鋼業株式会社
代表取締役社長 妻藤 誠

環境経営方針

<環境経営理念>

第一鋼業株式会社は金属剪断刃物・機械部品の製造及び金属熱処理加工を行う工場としての事業活動を通じて、地球温暖化の緩和に向けた取り組みや様々な環境活動に全員参加で自主的・積極的に取り組むと同時に、環境経営の継続的改善を行います。

<環境保全への行動指針>

- 1 . 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- 2 . 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- 3 . 廃棄ロスをなくす等廃棄物の発生抑制とその削減につとめます。
- 4 . 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
- 5 . 洗浄剤などの化学薬品の適正管理に努めます。
- 6 . 環境に配慮した生産活動を進めます。
- 7 . 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。

制定日： 2017年7月16日

代表取締役社長 妻藤 誠

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
第一鋼業株式会社
代表取締役社長 妻藤 誠
- (2) 所在地
本 社 大阪市西成区南津守6-3-22
本社工場 同上
九州工場 福岡県北九州市若松区南二島2丁目25番1号
東京営業所 東京都大田区東六郷3丁目9番9号
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 総務部 宇野 眞博 TEL：06-6651-8368

- (4) 事業内容
金属剪断刃物や機械部品の製造 金属熱処理加工

- (5) 事業の規模
売上高 108,813 万円 (2021年度)

	本社	九州工場	東京営業所	合計
従業員	65 名	8 名	3 名	76 名
延べ床面積	4,705 m ²	500 m ²	88 m ²	5,293 m ²

- (6) 事業年度 前年12月21日～12月20日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 第一鋼業株式会社
対象事業所： 本社・工場、九州工場、東京営業所

活動： 金属剪断刃物や機械部品の製造 金属熱処理加工

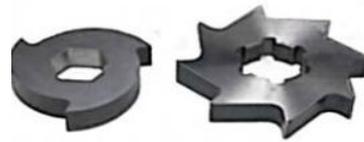
□事業や製品(商品)の紹介



ライナー

スライドウェイ

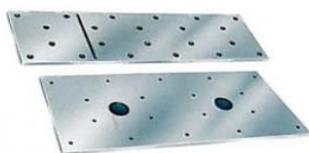
環境処理用粉碎刃



熱間用シャーナイフ

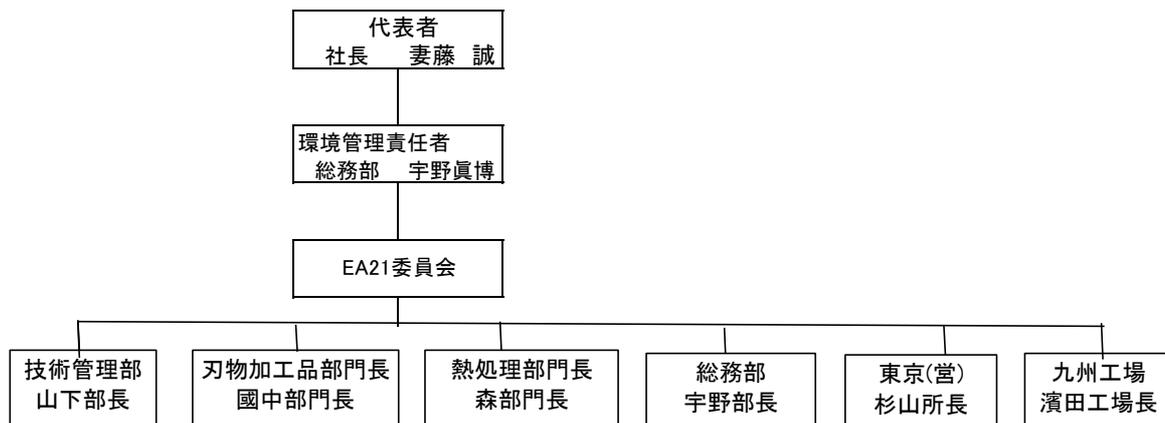


スクラップシャーナイフ



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2021年12月15日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認 環境管理責任者の補佐、EA21委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
EA21委員会	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営計画の審議 環境活動実績の確認・評価
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2017年	2019年	2020年	2021年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	3,085,312	3,282,064	2,474,004	2,935,014
廃棄物排出量					
一般廃棄物排出量	kg	2606.16	9,180	7,877	7,310
産業廃棄物排出量	kg	54,104	92,573	137,987	82,329
総排水量	m ³	6,536	6,784	6,112	5,966

※二酸化炭素排出係数 0.496 kg-CO₂/kWh 関西電力の調整後の係数 (2015年の実績)

※産業廃棄物排出量には、有価物50600kgを含んでいます。

□環境経営目標及びその実績

2021年度EA21環境目標 (※SDGs取組関連目標)

- | | |
|---------------------|----------------|
| (1) 電力による二酸化炭素削減 | 2017年度基準比 2%削減 |
| (2) 都市ガスによる二酸化炭素削減 | 2017年度基準比 2%削減 |
| (3) 自動車燃料による二酸化炭素削減 | 2017年度基準比 2%削減 |
| (4) 一般廃棄物の削減(コピー用紙) | 2017年度基準比 2%削減 |
| (5) 産業廃棄物の削減 | 2017年度基準比 2%削減 |
| (6) 水道水の削減 | 2017年度基準比 2%削減 |
| (7) 洗浄剤使用量削減 | 2017年度基準比 2%削減 |
- 及び環境に配慮した生産活動(改善、安全衛生、5S、ISO9001、BCP)



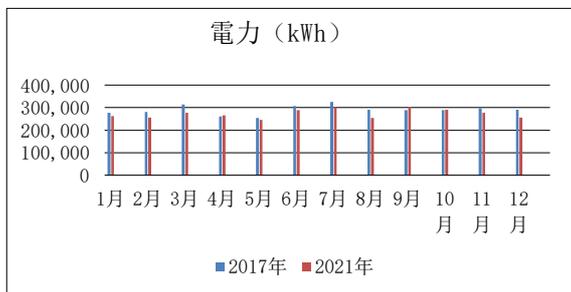
項目	年度	基準値 (基準年)	2021年		評価	2022年	2023年
			上段: 通期 下段: (目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	1,734,872	1,700,174	1,625,721	○	1,700,174	1,682,825
	基準年度比	2017年	98%	94%		98%	97%
都市ガスによる二酸化炭素削減	kg-CO ₂	1,281,879	1,256,241	1,243,339	○	1,256,241	1,243,423
	基準年度比	2017年	98%	97%		98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	57,843	56,686	57,671	×	56,686	56,107
	基準年度比	2017年	98%	100%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	3,074,593	3,013,101	2,926,731		3,013,101	2,982,355
一般廃棄物の削減(コピー用紙)	kg	969	950	866	○	950	940
	基準年度比	2017年	98%	89%		98%	97%
産業廃棄物の削減	kg	57,724	56,569	75,719	×	56,569	55,992
	基準年度比	2017年	98%	131%		98%	97%
水道水の削減	m ³	6,536	6,405	5,966	○	6,405	6,339
	基準年度比	2017年	98%	91%		98%	97%
洗浄剤使用量削減	kg	140	137	0	○	137	136
	基準年度比	2017年	98%	0%		98%	97%
環境に配慮した生産活動	行動目標(次項による)						

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	使用量のみで見ると生産量に影響されることに変わりはないがチャージ回数当たりの充填量は効率化されつつあるように思います。売上当たりでみてみるとわかりやすいが次年度は仕事のやり方はもちろんだが変電設備関係にも取り組み、省エネとなる効果に期待したい。
・不要照明の消灯(省エネパトロール時)	○	
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃前後)	○	
・各エアコンフィルターの清掃点検(省エネパトロー)	○	



取組紹介欄



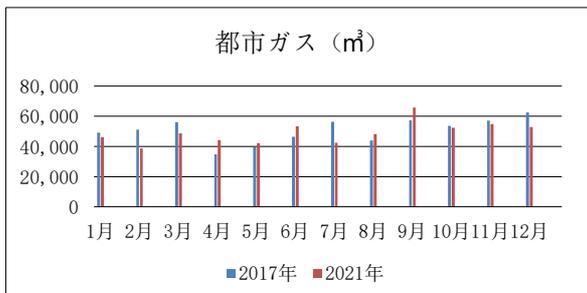
室外機に日よけ

次年度の取組内容

ガス同様、エネルギー使用量についても加工高の変動による影響が大きいため生産効率など向上が必要それらを考慮した使用量削減を検討する。また老朽化しつつある社内空調設備部分も費用対効果をみながら検討していく

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2017年	277,576	281,322	314,513	260,267	253,945	307,527	326,080	290,758	289,336	289,336	296,962	289,938
2021年	261,997	255,143	277,549	266,165	244,853	288,508	302,281	253,918	304,483	290,727	276,469	255,570

都市ガスによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	少しコロナ過の落ち着いたところから生産量が上がってきたが当然使用量増になっている売上比でみても効率的とはいえなかったが次年度はガスの高騰がさらに予想され空気比調整実施は定例化されつつあるが最適比をだすのは難しい、また時ガスのデマンド管理を製造現場に徹底して効果を上げたい
・熱処理炉の充填率、操業率の計算～分析～関	○	



取組紹介欄



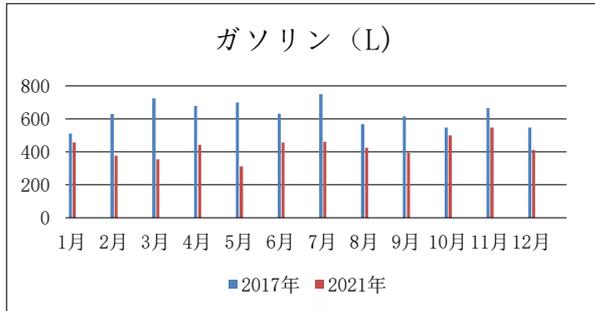
GHP フィルター
清掃点検

次年度の取組内容

ガスエネルギー使用量については炉への充填率も大きく影響するたくさんできるだけ充填するのが効果的なのだが、とはいえ納期厳守でもあるのだが工程を考慮した使用量削減を検討する。また電気同様、老朽化しつつある社内空調設備部分も費用対効果をみながら検討していく

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2017年	49,138	51,174	55,962	34,809	39,397	46,445	56,410	43,983	57,311	53,692	57,087	62,570
2021年	46,073	38,825	48,715	44,133	42,299	53,226	42,440	48,153	65,727	52,323	54,825	52,960

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	×	配送ルートの見直し、アイドリングストップのところがけているが効果的な数値は難しかった。後半に取り組んだバッテリーフォークへの入替と来期は旧車の入替があるが燃費改善への効果に期待したい。
・毎月の売上と運搬費の比率を管理していく	△	
・ガソリンからバッテリーフォークリフトへの	○	
・各自、体調管理、法令順守し無事故、無違反	○	



取組紹介欄

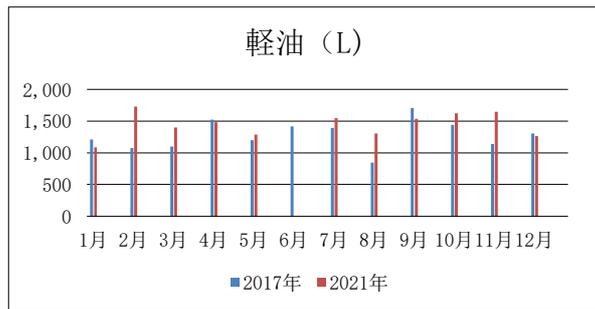


全台バッテリーフォークリフト化

次年度の取組内容

バッテリーフォークへの入替効果は二酸化炭素削減とガソリンの消費がなくなるがハイブリッド車のような回生エネルギー発電はないので逆に電気代への負担とならないように活用したい

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2017年	511	629	724	680	700	631	749	569	615	547	666	548
2021年	457	377	356	443	312	457	461	425	395	500	548	411



取組紹介欄



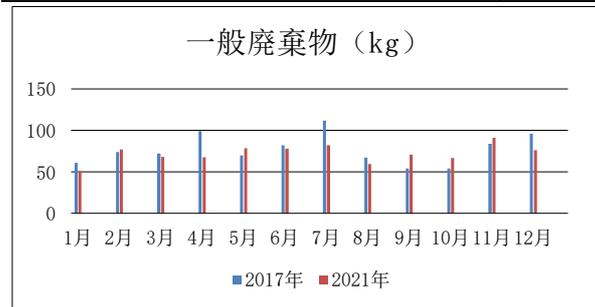
アイドリングストップ運動

次年度の取組内容

新型車両への入替を予定しているが引き続きアイドリングストップなどの基本の取り組みを重視したい。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2017年	1,212	1,073	1,097	1,521	1,196	1,417	1,394	847	1,703	1,439	1,138	1,307
2021年	1,085	1,728	1,400	1,484	1,284	0	1,549	1,307	1,532	1,623	1,646	1,265

一般廃棄物の削減(コピー用紙)	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	なかなか結果の出ない一年となったが後半から各会議体への資料削減依頼とノーペーパー化の先駆けとしてEA21会議では資料を共有フォルダで管理し使用数削減意識に取り組む
・書類の簡素化(集約印刷、裏紙利用、PDF保)	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・一般ごみの量を把握 ぎゅうぎゅう作戦実施	○	
・EA21会議資料の共有フォルダ化等によるコ	○	



取組紹介欄



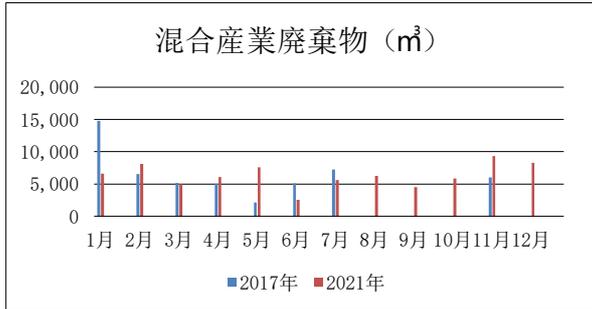
収集運搬作業

次年度の取組内容

前年は全体的な廃棄量は把握できていても細部まではわからない状況であったが、各部署別などでごみ袋からの使用量を公表したことは削減意識の向上につながった。次年度はそのデータをもとにさらに対策する。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2017年	61	74	72	99	70	82	112	67	54	54	84	96
2021年	51	77	68	67	78	78	82	59	71	67	91	76

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	×	課題であった高濃度PCBコンデンサのJESCO処分、非PCB水銀灯安定期、コンデンサの処分は完了した。
・材料の歩留まり向上(材料会議)	○	
・加工ミスによるロス削減確認(ISO会議)	△	
・機械、研削工場タンク内清掃で水溶性廃液の	△	
・コンデンサ、水銀灯安定期保管～処分	◎	



取組紹介欄



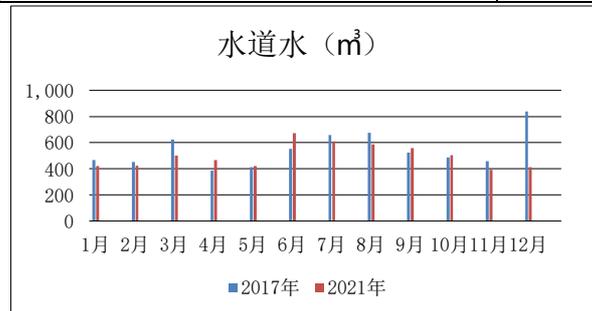
高濃度PCB処分

次年度の取組内容

大阪府の処分期限にはなんとかまにかまにあったが低濃度のPCB処分は次年度も引き続き対処していきたい、産業廃棄物の処理にかかるコストを低減するため分別方法も再考していく。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2017年	14,782	6,524	5,133	5,012	2,150	5,072	7,222	2	2	2	6,003	2
2021年	6,575	8,100	4,996	6,090	7,583	2,550	5,627	6,233	4,530	5,836	9,335	8,265

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	少しずつ広がる漏水箇所は使用量に影響してくる、大きな異常値がでるか、損傷箇所をみつけてこそ修理に取り組めるが、そんな中、配管、止水栓など社内設備は老朽箇所も多く今後も気を付けたい
・節水シールの貼り付けと意識づけ掲示	○	
・定期的な漏水点検	△	



取組紹介欄



漏水箇所修理工事

次年度の取組内容

機器不良の漏水は水道利用消費に大きな損失となった、設備点検方法を検討して実施する。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2017年	466	452	624	387	412	553	658	677	523	487	459	839
2021年	422	423	501	468	420	672	610	586	559	503	392	412

洗浄剤使用量削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	中堅、新入社員へも適切な時期に取扱い教育を引き続きおこなっていく
・製造課使用薬剤、危険物の取り扱い教育の実	○	
0		

取組紹介欄

使用薬品取扱い
教育講習



次年度の取組内容

環境影響も大きいPRTR物質を含む化学薬品の取扱いはなくなった、脱硫剤(少量)のみになるが新規の取扱いになる薬品類に関しては安全衛生上の観点からも中途、新入社員の未受講の社員にも取扱い教育を継続していく

環境に配慮した生産活動	達成状況	取組結果とその評価
・全社5S活動の推進、クリーン作戦の継続実施	○	改善実施の提案件数は年々伸びていっている、さらに実施された提案の中にも環境関連の小さいながらも取り組み改善も多く、職場での環境意識の向上が上がっている
・関西電力太陽光パネルの運用 発電量監視	○	
・改善提案実施活動(改善事務局)	162件	
・SDGS教育(SDGs、男女共同、人権、健康メン及び「環境改善いいね	○	

取組紹介欄

・コロナ感染症対策によるオンライン講習



次年度の取組内容

改善実施活動は件数のみではなく創意工夫のある内容向上を意識しながら提出1件/1人当りで継続して全員参加をめざす

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（金属くず、木くず、消耗品屑等）
騒音規制法	空調機・空圧機
振動規制法	走行クレーン
大気汚染防止法	排出基準の遵守、排出濃度の測定・記録の保管
省エネ法	第2種特定工場の届出、管理者の選任
温暖化対策推進法	対策計画、実績報告
フロン排出抑制法	簡易点検の実施、定期点検の実施、点検記録の保存
PRTR法	指定化学物質の取扱量把握、SDSの受け取り
労働安全衛生法	SDS義務640物質の把握
No x・PM法	適合する自動車の使用
消防法（危険物）	危険物の管理
PCB処理法	対象品の届出保管
毒物及び劇物取締法	盗難/漏えい防止

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、省エネ法に関連した管理基準の作成に対応します。

なお、その他については違反、訴訟等も過去3年間ありません。

□緊急事態対応訓練 本社工場

緊急事態の想定： 火災消火と津波を想定した避難訓練	
■実施日： 毎月実施	■実施場所： 会社内
■参加者： 本社製造各部門 交代による	■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価： 消防署立会指導での訓練を予定していたが、今年はコロナ禍による度重なる消防署からの日程延期とようやくの開催当日は悪天候により中止となったが、各部消防器具点検は毎月実施しているののでそこに合わせて取扱い説明を実施した。	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子 本社 2011年10月11日	
	

□緊急事態対応訓練 東京営業所

緊急事態の想定： 火災消火と災害を想定した避難訓練	
■実施日： 令和3年9月21日	■実施場所： 東京営業所
■参加者： 東京営業所従業員全員	■実施内容： ・消火訓練、避難訓練
■評価： ・反省点 避難訓練のチェックシート等があった方が良かった。 ・良かった点 避難所が東京営業所のすぐ裏手にある事が分かった。実際に現地に行くことで、避難経路の確認、避難時間や周辺状況の確認を行えた。 ・コメント 今回の避難訓練は避難場所への経路及び退避時間の確認を主目的とした。実際に避難を行い、思った以上に避難場所が近く、安心する事が出来た。全員在籍との状況で、避難訓練を行った。次回は、誰か不在の状況を想定し行う予定。 避難訓練用（兼本番用）のチェックシートの作成を検討したい。	手順書の変更の必要性 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子	
	
	

□緊急事態対応訓練 九州工場

緊急事態の想定: 火災消火と津波を想定した避難訓練	
■実施日: 令和3年11月23日	■実施場所: 九州工場～避難地若松競艇場
■参加者: 九州工場従業員全員	■実施内容: ・消火訓練、避難訓練
■評価: 避難集合、安否確認に時間がかかったが今後回数を重ねて迅速にしていく 反省点 あくまで避難誘導場所の確認ではあったが津波を想定していたので次回は沿海に向かわず陸側の避難先を確認したい	手順書の変更の必要性 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子 消火器の取扱い説明後 若松区避難退避先に指定されているボートレース場に集合	
	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2021年12月24日

<p>【前回の指示への取組結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・油煙を減少させる消炎装置の設置計画の策定についてはコスト面、見積もり、仕様決定と長引いたが2021年着工が決定した ・炉の断熱工事、建屋の断熱工事などはコスト面で未実施 ・二酸化炭素の削減目標については省エネ法への届け出にもとづく管理標準、点検方法見直しと省エネ改善実施で年初のEA21委員会で目標数値を2017年度基準通りとしている。九州、東京については単体での基準経営計画目標設定と進捗管理を開始した。 	
<p>◇自社を取り巻く環境問題の変化 (社会的情勢、利害関係者の要求等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低濃度PCB廃棄物の処理期限が、2027年3月31日となっていることを意識し、稼働しているコンデンサ、トランス処分が今後の課題 	<p>◇環境方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部年年度経営計画に環境関連項目を付記し策定内容を着実に実施してください。方針の見直しはなし
<p>◇環境目標・活動計画の達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電力による二酸化炭素2%削減や、都市ガスによる二酸化炭素2%削減等の目標は、基準年からすべて達成されているが世界規模の感染症から生産量にも大きく影響を受けている。改善実施提案については過去最高件数を更新 	<p>◇環境経営目標・環境経営計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カーボンニュートラルへの取り組みは熱処理業界全体の課題でもあります。二酸化炭素の削減目標は、生産量の増減や設備の更新等により、達成状況が左右されるが、2022年度は、省エネ管理標準、点検方法見直しと省エネ改善のさらなる実施で二酸化炭素削減目標は、前年と同じ基準年比2%削減を目標とします。
<p>◇その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利害関係者からの苦情・要請等 過去に油煙に対して、近隣から火災と間違えて消防署に連絡されたことがある。 ・環境上の問題点等 	<p>◇その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なかなか着手できないが2021年度計画の油煙を減少させる装置の具体的な設置を実施してください。 ・LED照明の範囲拡大、炉の断熱工事、建屋の断熱工事など計画検討してください。・九州工場は断熱化工事を完成させてください。
<p>【今回の評価結果と今後の経営視点】</p> <p>やはりカーボンニュートラルへの取り組みが業界全体で急務となりつつあります。新しい省エネバーナーや、加工方法の見直しなど提案できることを模索していくことが必要、あらたな課題として低濃度PCBコンデンサの保管があり今後の処分が必要、廃棄物量は5S活動の推進で増加したが、その他は2017年度比では数値上は達成されている結果でしたが、今回の結果をレビューして、2021年度計画で改善していきます。</p>	

□これまでの環境活動の紹介

・本社太陽光パネルの様子



・九州工場断熱工事風景(まず外装部完成)
before



工事開始



after



□編集後記

EA21 審査の様子(本社)



(東京営業所審査時 九州工場とのオンライン)

